

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	熊本大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	クマモトダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	九州地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	研究型インターンシップ I
	学部・研究科等名	自然科学研究科
	担当教職員名・役職	市川聡夫・教育部長
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	7
	受入企業等数	13
	受入企業等名	https://www.fast.kumamoto-u.ac.jp/gsst/internship/
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 3.海外インターンシップ 7.大学院生を対象とした研究インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	3.その他
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	特になし
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「研究型インターンシップ成果発表会」において、インターンシップの実施内容・研究内容に関わる事項の記載の有無は不問とする。記載内容はあくまで、インターンシップの経験を踏まえた自己の研鑽方法の立案と、実践・実績の経過報告を主とする。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		標準2年の修業年限以内
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		インターンシップを通じて大学と企業・官公庁等との連携をいっそう促進して大学における教育・研究内容の改善と充実を図るとともに、企業等の現場において専門分野における高度な知識・技術を駆使・修得することで実社会への適応能力のより高い実践的な人材の育成を目的とする。さらに、国際的な視野を育成する目的で「海外インターンシップ」も積極的に斡旋し、本教育部の目標である「国際的に魅力ある大学院づくり」を推進する。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	4.その他
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	学生が研究型インターンシップにおいて修得した成果を、受入れ先企業の体制やプログラムとともに公表し、評価を受ける成果発表会を実施。
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	・インターンシップ終了後、指定用紙「研究型インターンシップ実施報告書」を表紙として、レポートを指導教員へ提出し、単位の評点(評価・80点満点)をうけること。・単位取得は「研究型インターンシップ成果発表会」への参加を必須とする。

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	研究型インターンシップ成果報告会におけるコミュニケーションスキルを研究型インターンシップ委員会が判定し教務委員会に報告する。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	教務委員会では研究型インターンシップ実施報告書、報告会における各種受賞の有無(現地投票方式による成績等)などをもとに総合的に判断し、単位の認定および評価をおこなう(成果発表会参加10点・報告会における受賞10点を加点する)。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	インターンシップ(一般)は、20日以上(延べ日数)
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習先には最低5日間とし、共同研究等を合わせて20日以上とする。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	7.その他
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	「インターンシップ実施報告書」の承認・提出
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ終了後、「インターンシップ実施報告書」の承認・提出
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.fast.kumamoto-u.ac.jp/gsst/internship/
問い合わせ先	大学等名	熊本大学
	担当部署名	自然科学系事務課大学院教務担当
	担当者役職名	係員
	担当者氏名	宮崎
	電話番号	096-342-3013
	メールアドレス	szkn-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp